

付着生物ラーバ情報

キヌマトイガイの付着が増加する見込み

1 ラーバ等の出現状況

令和5年3月18日から3月23日にかけて陸奥湾内4地点において付着生物ラーバ等の調査を行いました。調査地点は図1、出現数は表1のとおりです。

(1) キヌマトイガイ (通称: コメガキ)

ラーバは3月18日に奥内沖で160.0個体/m³、3月22日に久栗坂沖で17.2個体/m³、川内沖で104.7個体/m³、3月23日に野辺地沖で64.8個体/m³見られました (表1)。

(2) ユウレイボヤ (通称: ハナ)

ラーバは見られていません (表1)。

(3) ミネフジツボ

ラーバは3月22日に川内沖で0.8個体/m³見られました (表1)。

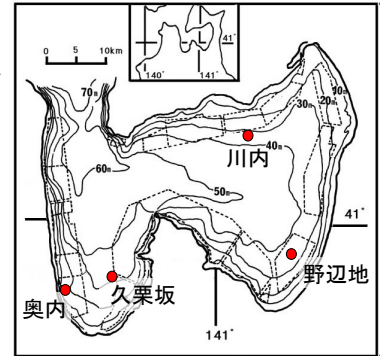


図1 ラーバ調査地点

表1 ラーバ等の出現状況

調査地点	調査月日	単位: 個体/m ³				
		ユウレイボヤ	サラボヤ	キヌマトイガイ	ムラサキイガイ	ミネフジツボ
奥内沖	R5.3.18	0.0	0.0	160.0	13.3	0.0
久栗坂沖	R5.3.22	0.0	0.0	17.2	15.6	0.0
野辺地沖	R5.3.23	0.0	0.0	64.8	52.3	0.0
川内沖	R5.3.22	0.0	0.0	104.7	14.1	0.8

※久栗坂・川内沖は実験漁場内

2 今後の見込み

(1) キヌマトイガイ

ラーバが継続して出現していることから (図2)、**籠や耳吊り、マボヤ採苗器への付着が増加**すると思われます。

(2) ユウレイボヤ

令和4年10月以降、ラーバの累積出現数は少ないものの (図3)、一部の海域で**ユウレイボヤの付着が多量**に見られていることから、今春の半成貝の**出荷作業効率が低下**する地域があると思われます。

(3) ミネフジツボ

付着直前のラーバがほとんど出現していないので (表1)、**付着はほぼ終了**したと思われます。

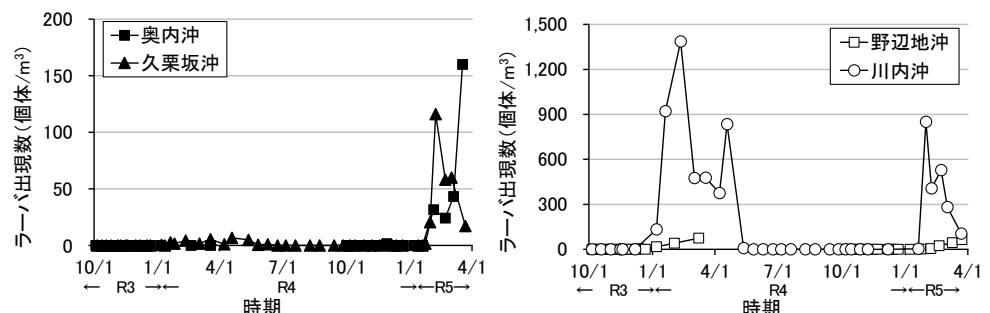


図2 キヌマトイガイラーバ出現数の推移 (令和3年10月~令和5年3月)

・平成25年の観察開始から現在までの最大値: 西湾 915個体/m³、東湾 4,483個体/m³

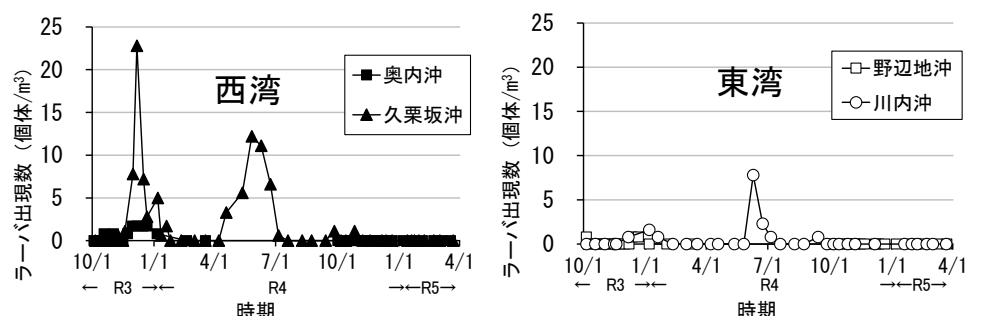


図3 ユウレイボヤラーバ出現数の推移 (令和3年10月~令和5年3月)

・平成25年の観察開始から現在までの最大値: 西湾 25個体/m³、東湾 10個体/m³

3 お知らせ

今季の付着生物ラーバ情報は今回で終了です。今後のキヌマトイガイ、ムラサキイガイのラーバの出現動向については、ホタテガイ採苗速報を参考にして下さい。

